ミライアル株式会社

2024年１月期
決算説明資料

2024年３月８日

アジェンダ

Miraial

１. 2024年1月期決算概要

２. 2025年1月期第1四半期業績予想

３. 中期成長戦略　2028

Miraial

1. 2024年1月期決算概要

2. 2025年1月期第1四半期業績予想

3. 中期成長戦略　2028

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結業績ハイライト

Miraial

売上高	13,256百万円	前年同期比	7.1%減
営業利益	1,521百万円	前年同期比	38.1%減
当期純利益※	1,025百万円	前年同期比	34.7%減
設備投資額	5,332百万円	前年同期比	72.7%増
減価償却費	1,052百万円	前年同期比	17.0%増

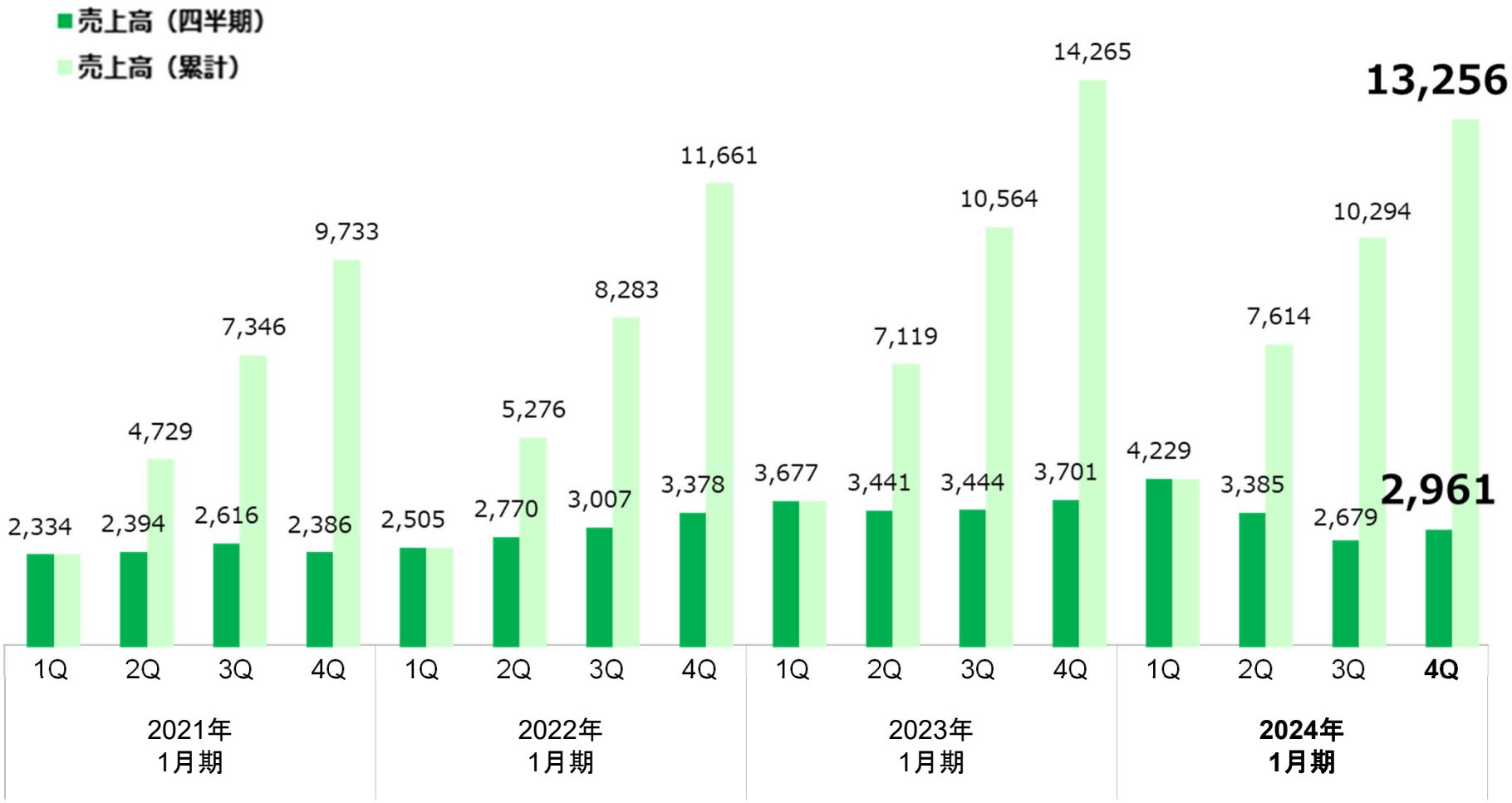
※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結売上高推移

Miraial

（単位：百万円）

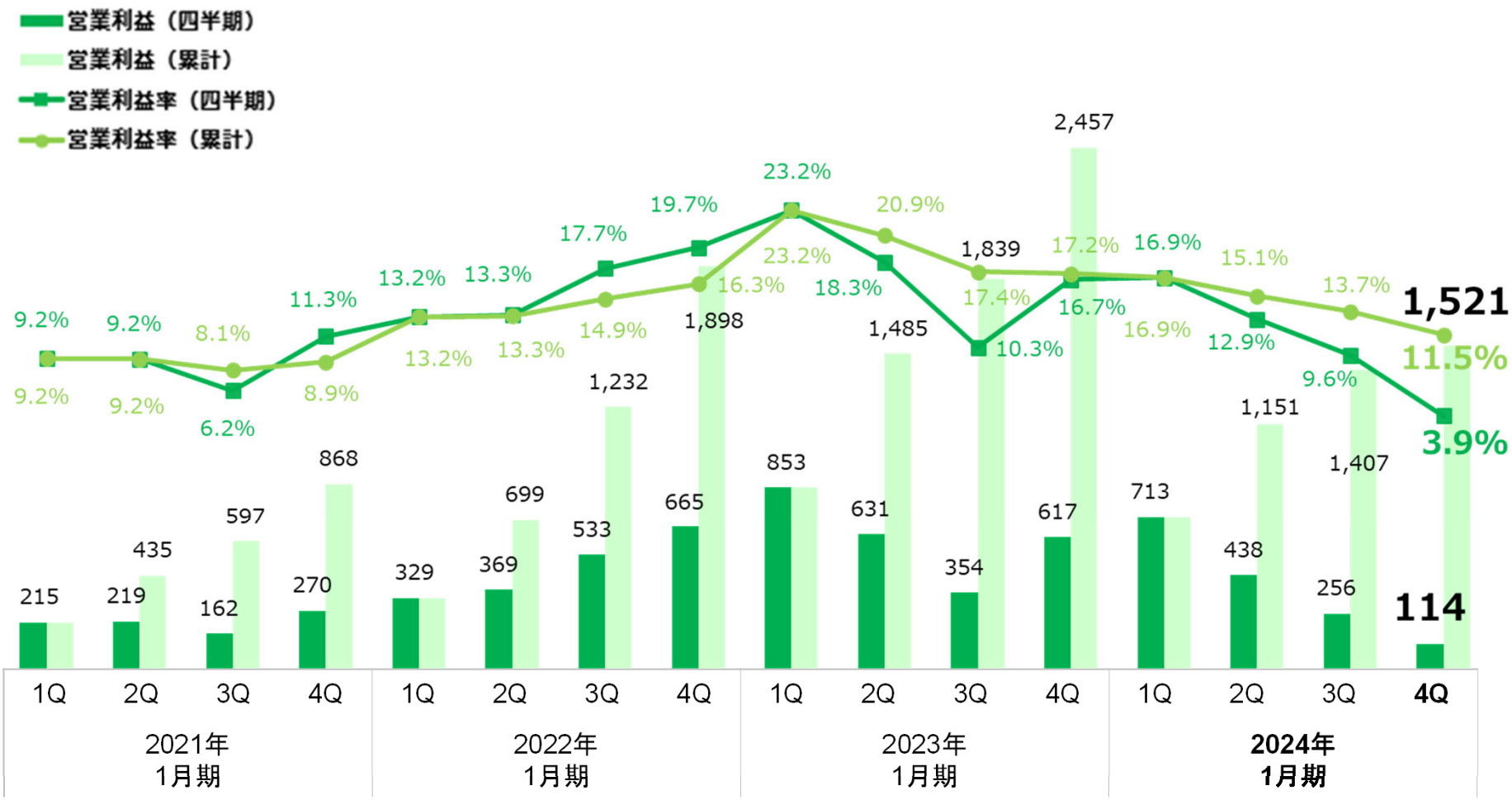


半導体市場の投資抑制や需要の減退の影響が下半期からより顕在化

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結営業利益推移

（単位：百万円）

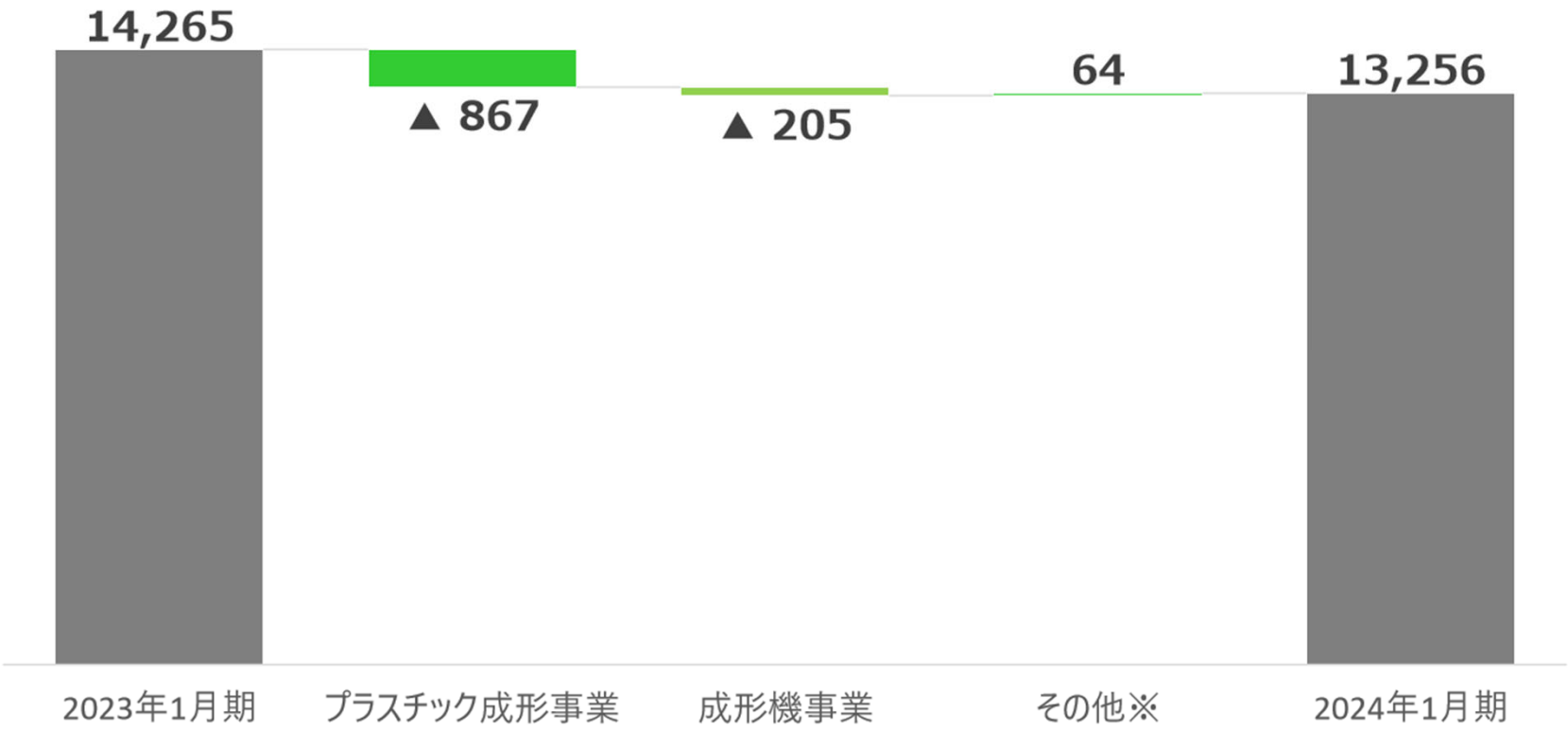


半導体市場の投資抑制・需要減退を受け期末に向け工場高稼働率が低下し、
資材価格の高止まり、増産設備投資による減価償却費の増加等により利益を圧迫

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

売上高　増減要因分析

（単位：百万円）

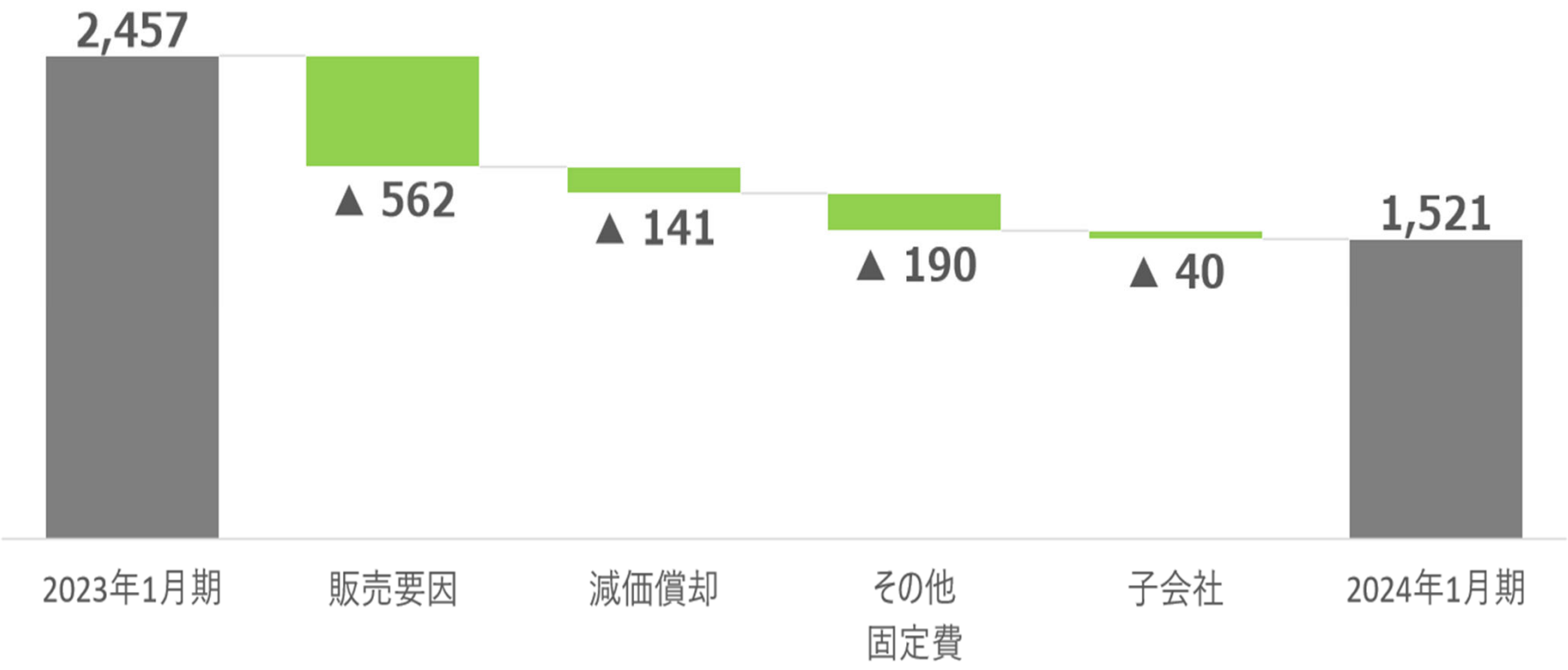


※その他：セグメント間取引消去や報告セグメントに帰属しない費用等

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

営業利益　増減要因分析

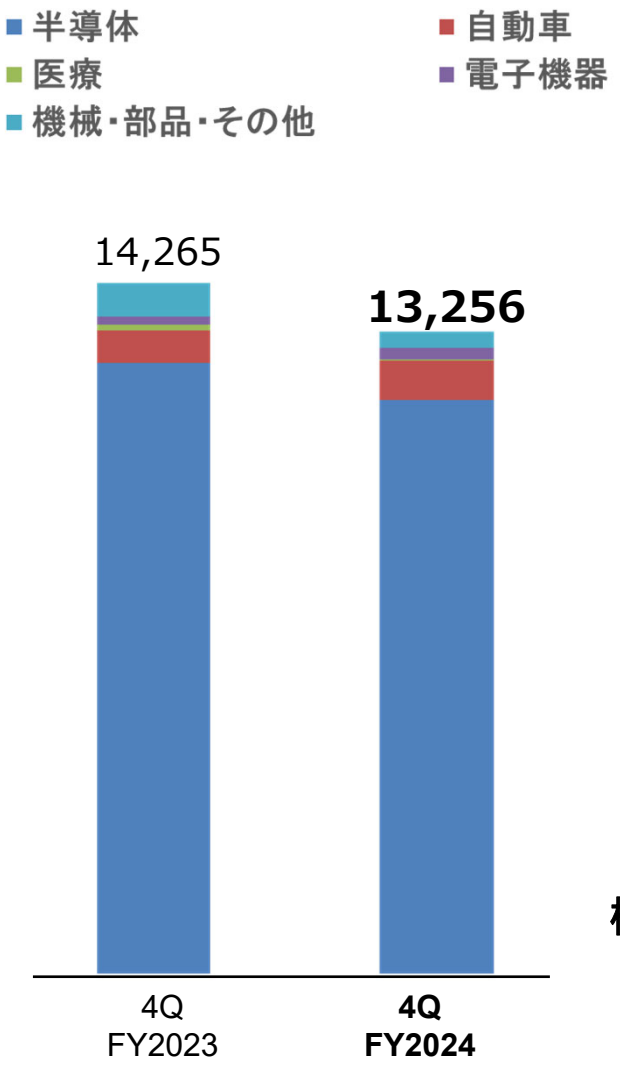
（単位：百万円）

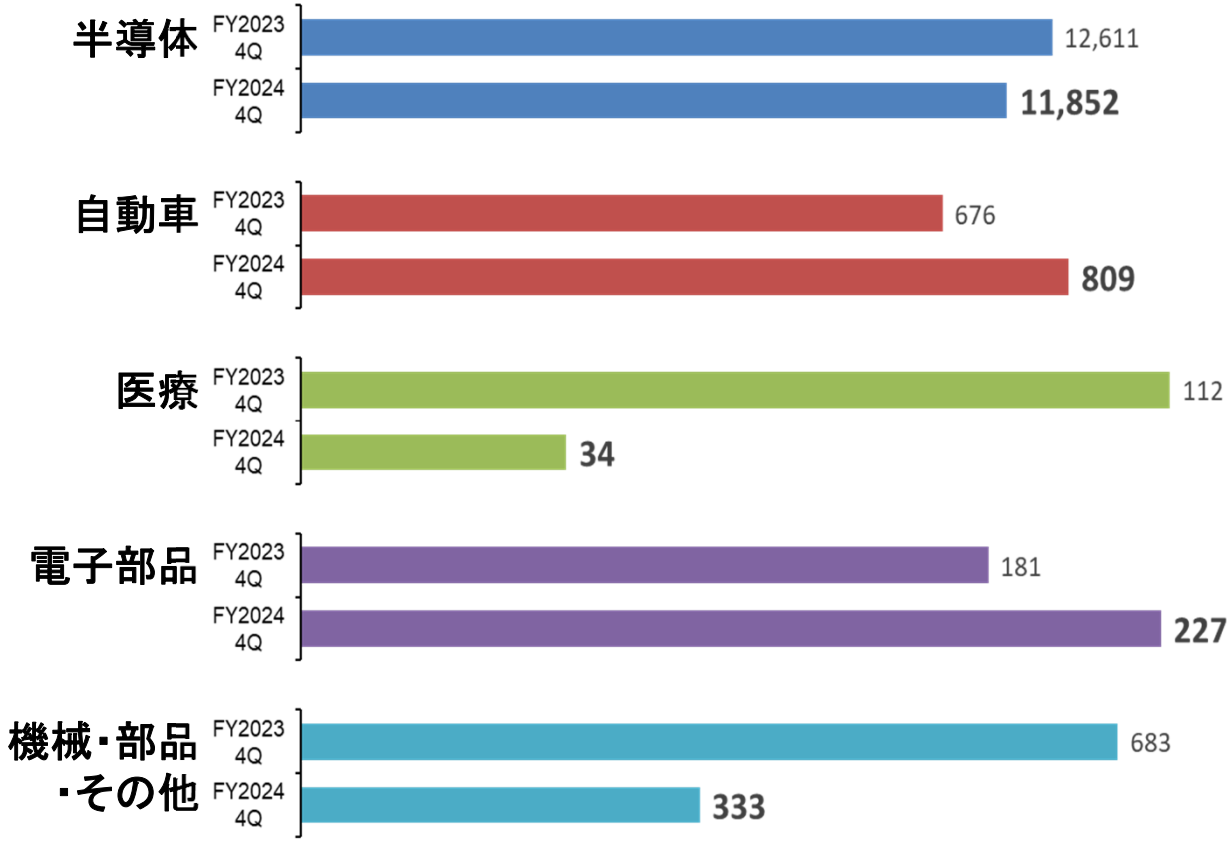


Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

市場別　売上高内訳

（単位：百万円）





Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結損益計算書

Miraial

単位：百万円	2024年 1月期	2023年 1月期	増減率
売上高	**13,256**	**14,265**	**▲7.1%**
売上総利益	3,249	4,231	▲23.2%
販売管理費	1,727	1,774	▲2.6%
営業利益	**1,521**	**2,457**	**▲38.1%**
営業利益率	11.5%	17.2%	▲5.7pts
経常利益	**1,603**	**2,532**	**▲36.7%**
特別損失	82	222	▲62.7%
当期純利益※	**1,025**	**1,570**	**▲34.7%**

※当期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益を示す

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結貸借対照表

単位：百万円	2024年 1月期	2023年 1月期	増減
流動資産	13,285	17,420	▲4,135
固定資産	13,291	9,153	4,138
総資産	26,577	26,574	2
流動負債	4,183	4,687	▲503
固定負債	704	732	▲27
純資産	21,689	21,154	534
（内）利益剰余金	20,948	20,373	575
自己資本比率	81.6%	79.6%	2.0pts

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結キャッシュ・フロー計算書

Miraial

単位：百万円	2024年 1月期	2023年 1月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	**338**	**2,553**
（内）減価償却前税引前損益	2,573	3,209
（内）減損損失	81	222
（内）法人税等の支払額	▲922	▲586
投資活動によるキャッシュ・フロー	**▲4,598**	**▲3,053**
（内）固定資産の取得による支出	▲4,615	▲3,055
財務活動によるキャッシュ・フロー	**▲478**	**▲476**
（内）配当金の支払額	▲450	▲450
現金及び現金同等物の期末残高	**6,759**	**11,496**

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

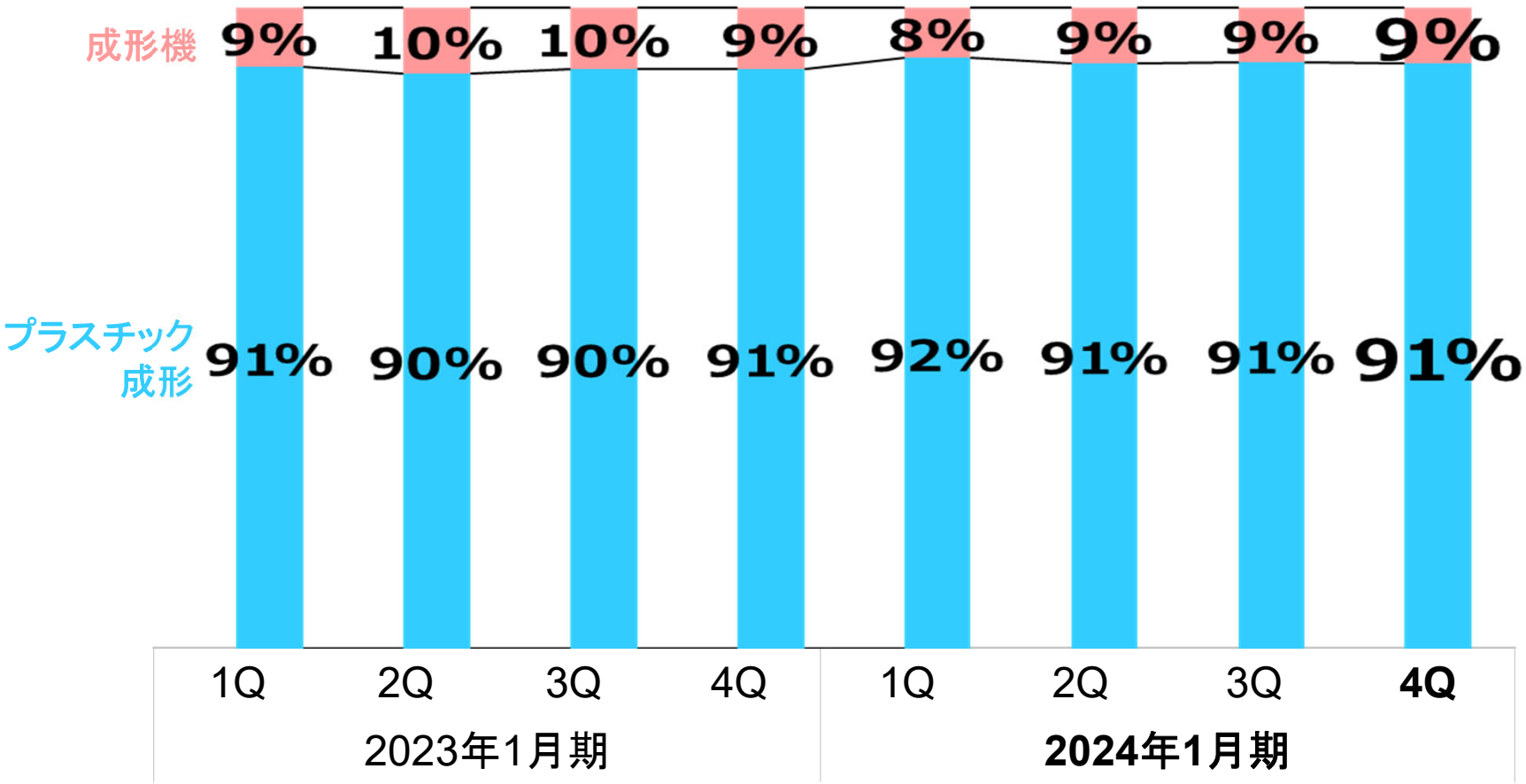
セグメント別業績ハイライト

Miraial

	売上高	セグメント利益
プラスチック成形	12,307百万円 （前年同期比　6.6%減）	2,023百万円 （前年同期比　29.1%減）
成形機	1,176百万円 （前年同期比　14.9%減）	106百万円 （前年同期比　37.9%減）

Copyright：2024　© Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別売上高構成比

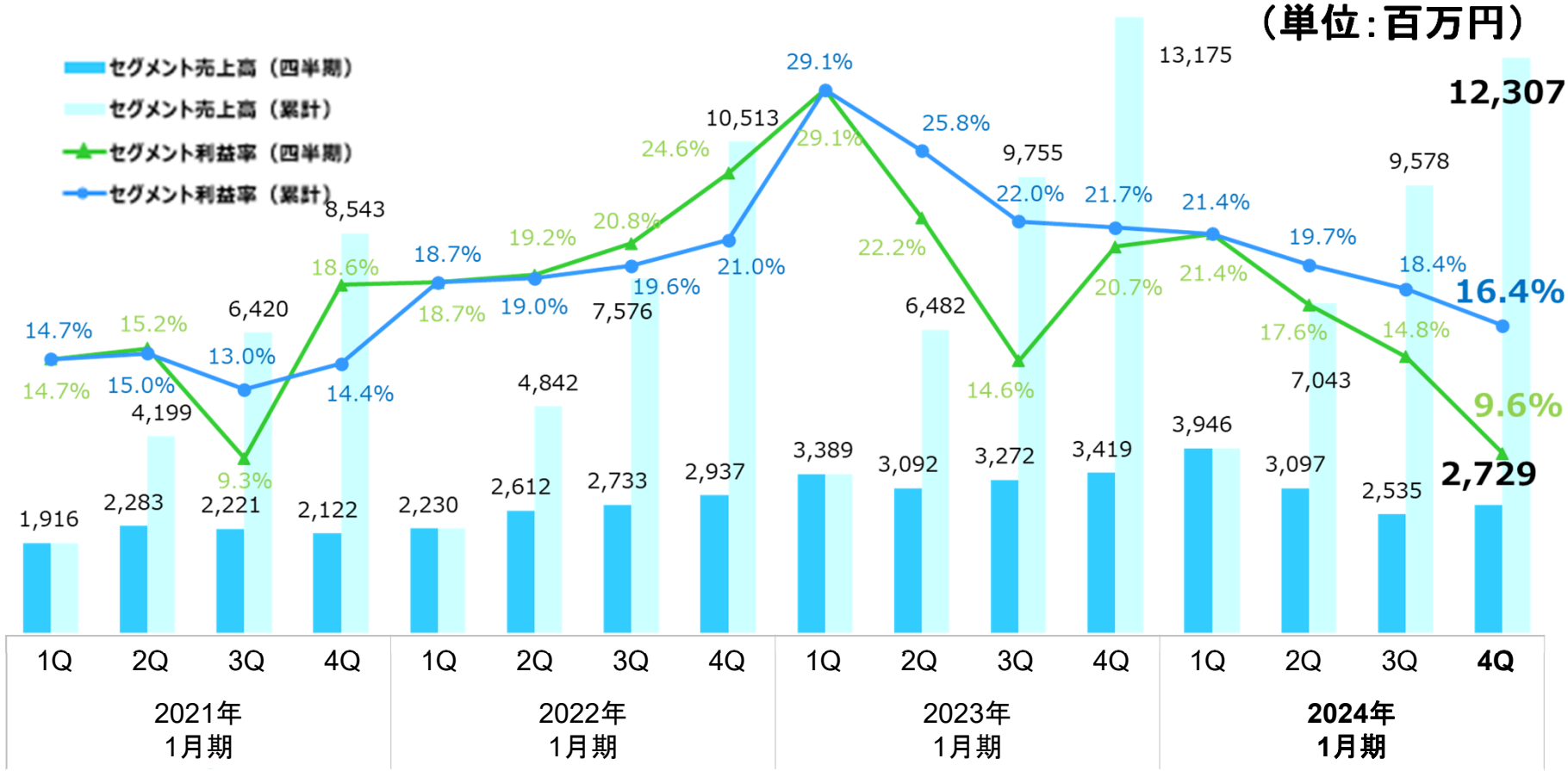


Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別業績　–プラスチック成形–

Miraial

（単位：百万円）



半導体関連製品

売上高（シリコンウエーハ関連容器）は半導体市場の需要減退等の影響により低迷
購入部材費の高止まりの状況は継続、増産設備投資による減価償却費の増加

その他関連製品

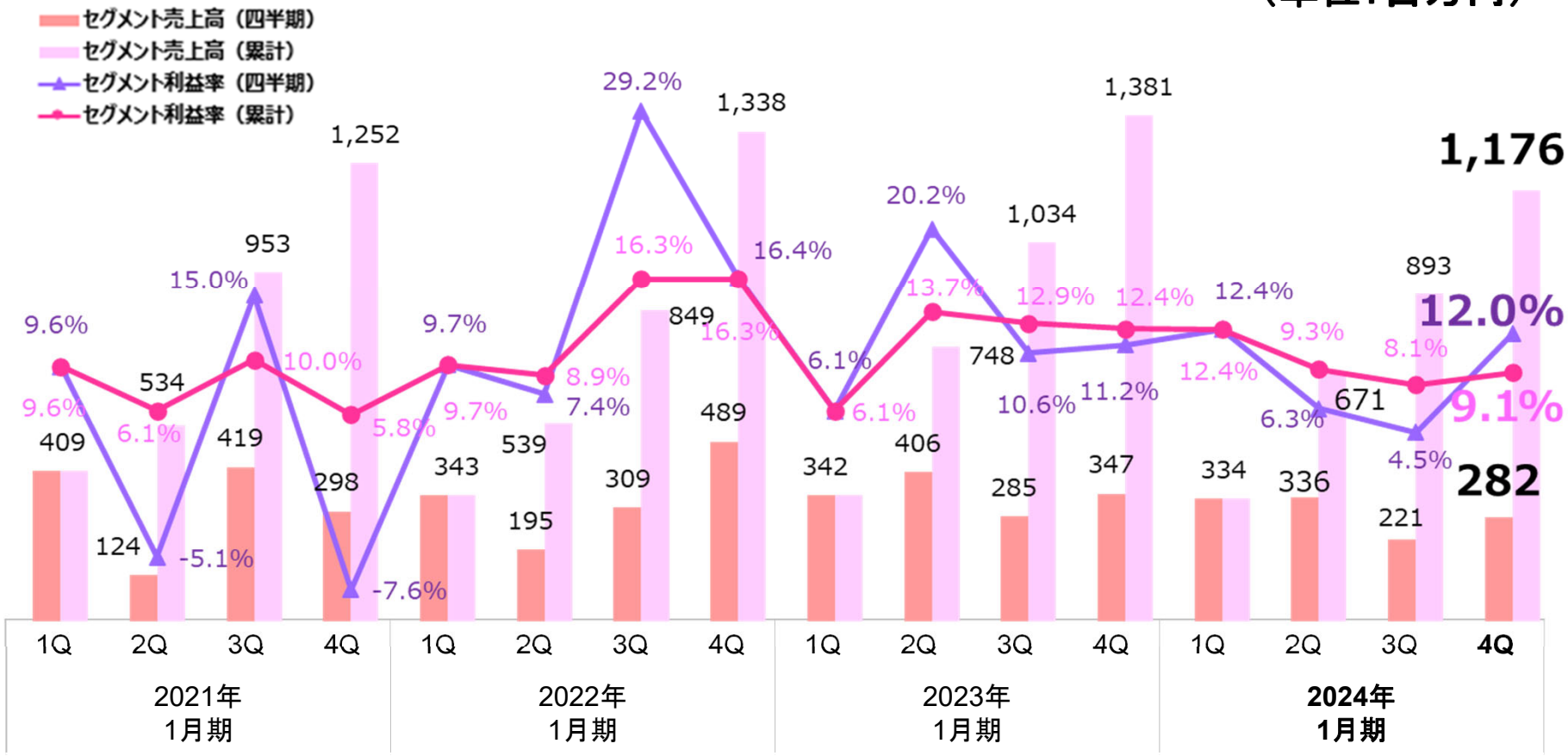
自動車関連、電機関連が堅調に推移

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別業績　−成形機−

Miraial

（単位：百万円）



設備投資が回復基調にあり受注は堅調であるものの
一部部品の供給不足が依然として継続

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

Miraial

1. 2024年1月期決算概要

2. 2025年1月期第1四半期業績予想

3. 中期成長戦略　2028

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2025年1月期第1四半期業績予想等

Miraial

単位：百万円	2025年1月期 1Q（予想）	2025年1月期 増減額	2025年1月期 増減率	2024年1月期 1Q（実績）
売上高	3,250	▲979	▲23.2%	4,229
プラスチック成形事業	2,750	▲1,196	▲30.3%	3,946
成形機事業	550	▲216	64.3%	334
内部売上高等調整	▲50	1	▲2.0%	▲51
営業利益	240	▲473	▲66.4%	713
経常利益	250	▲491	▲66.3%	741
当期純利益※	170	▲338	▲66.6%	508

※当期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益を示す

[配当予想]

	2025年1月期	2024年1月期
配当金	未定	中間：20円/株(実績) 期末：20円/株(予定)

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

Miraial

1. 2024年1月期決算概要

2. 2025年1月期第1四半期業績予想

3. 中期成長戦略　2028

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期成長戦略 2028（概要）

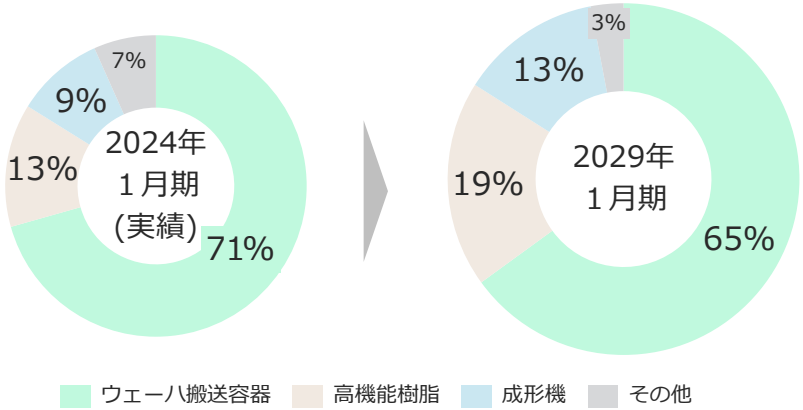
Miraial

2025年１月期を初年度とする5か年の中期成長戦略を策定

事業戦略

- ✓ 半導体の微細化に伴うクリーン化要求への対応
- ✓ 半導体市場の急成長の中でも安定供給できる体制の構築
- ✓ クリーン化技術やスーパーエンプラの加工技術等の強みを活かせる新規マーケットを開拓する
- ✓ ＥＶの次世代モーター向けの封止用トランスファー成形機を拡販

[最終年に目指す事業ポートフォリオ]



数値目標/財務戦略

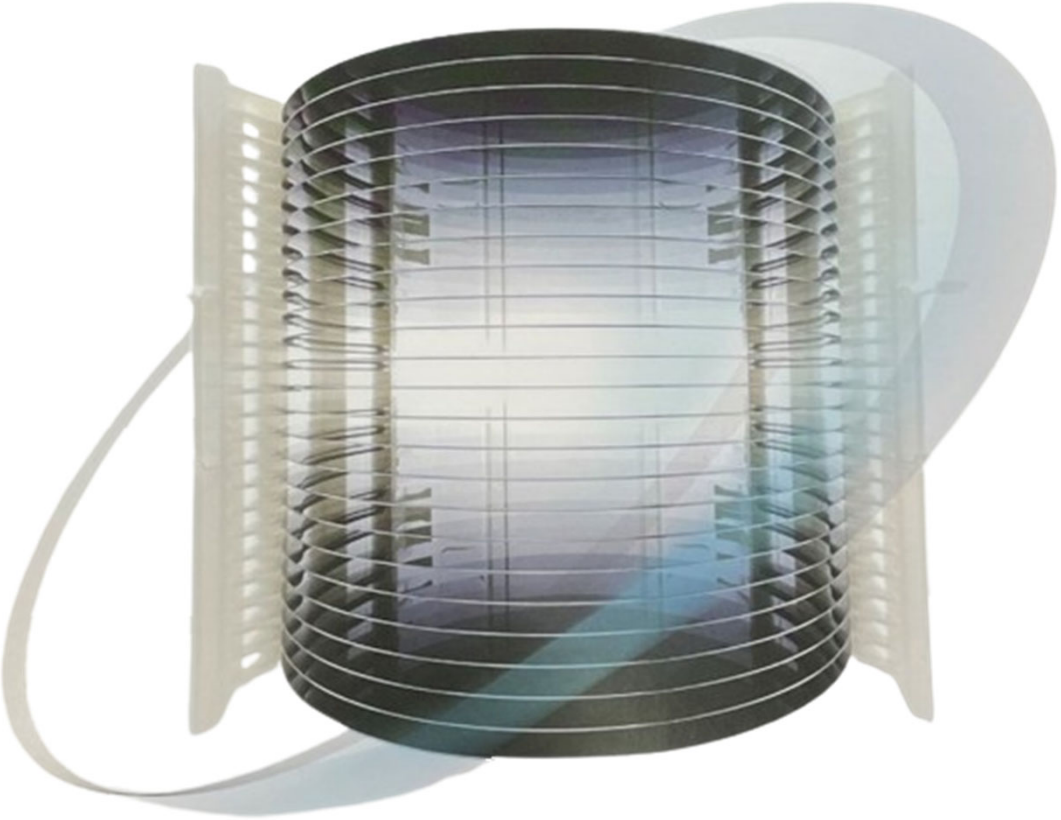
- ✓ 業績の伸びに加えて、資本コストを上回るROEの実現もKPIとして設定

[数値目標]

	2024年1月期	2029年１月期
売上高	132 億円	**239** 億円
営業利益	15億円	**47** 億円
営業利益率	11.5%	**20.0** %
ROE	4.8 %	**11.1** %

- ✓ 30%を目途とした安定配当を維持しつつも、資本効率の改善を目指した自社株買いも視野

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.



はじめに

前成長戦略の振り返り

中期成長戦略 2028

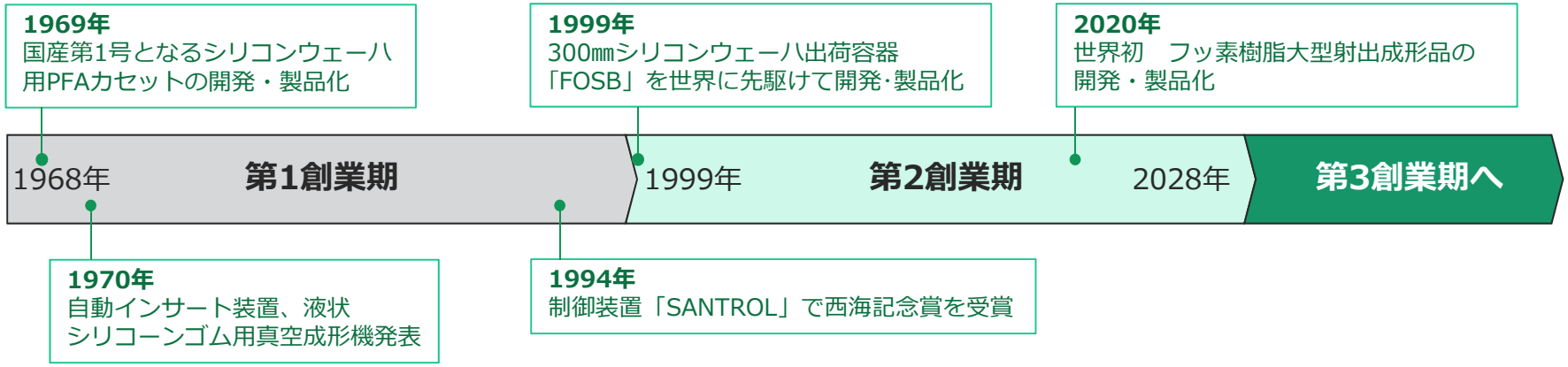
サステナビリティの取組

イノベーションの歴史と独自技術・独自製品へのこだわり

Miraial

ミライアルグループの原点は、樹脂の成形加工技術。
成長市場を見極め、誰もやらない・やれないモノづくりに挑戦し、
独自性の高い、高付加価値な製品を世に送り出すことから始まった。

[イノベーションの歴史]



「できない」という先入観を持たず、
お客様に最大の価値をご提供するという信念で果敢に開発に挑んできた歴史が、
ミライアルグループの「独自技術・独自製品にこだわる」というDNAを育んできた。

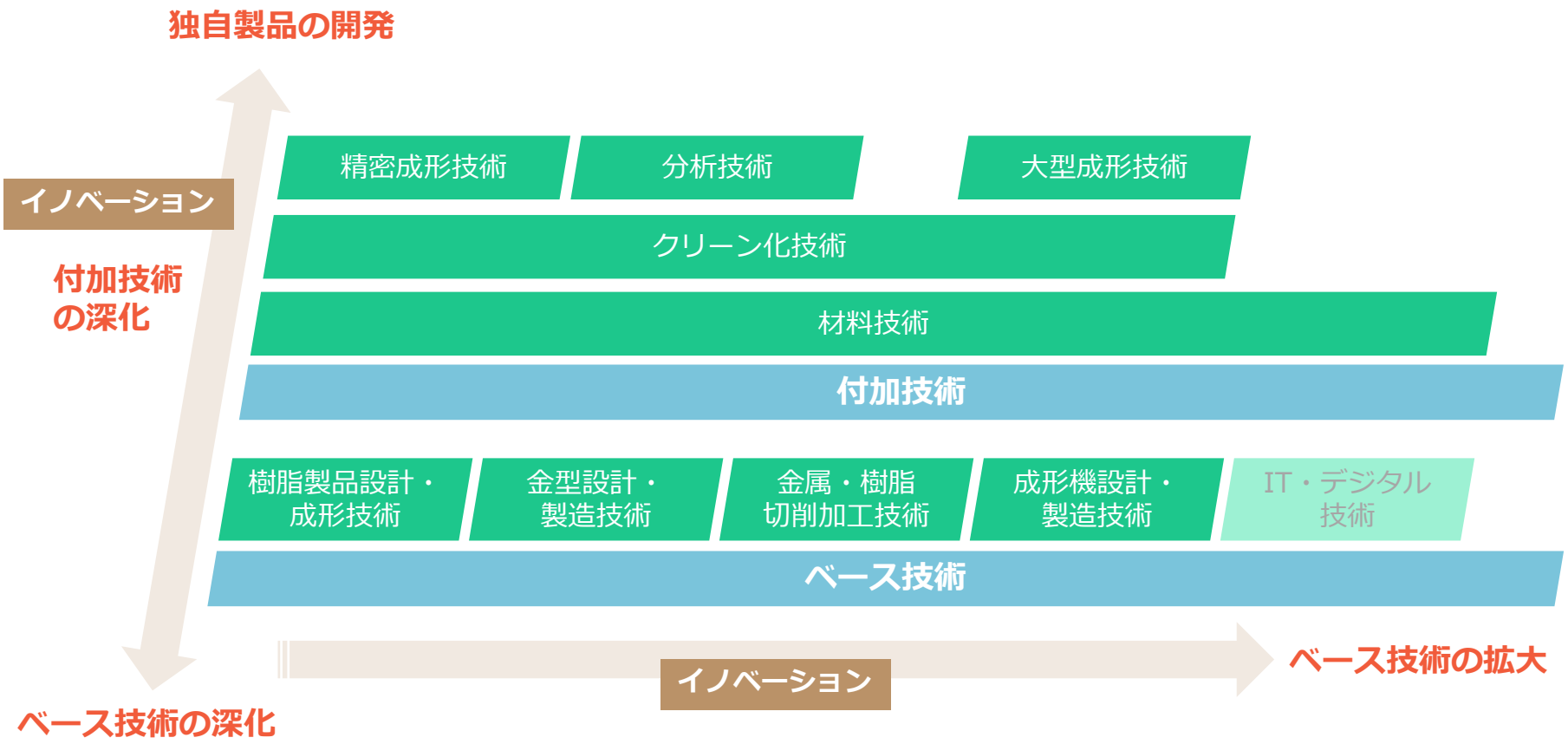
このDNAは、ミライアル経営理念にも示されている。
これからも従業員全員が胸に抱き、
笑顔あふれる幸せな未来社会に貢献する価値創出を目指し、新たなイノベーションに挑み続けたい。

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

当社のイノベーションの源泉である技術プラットフォーム

Miraial

技術の深化・拡大を通じて、イノベーションに繋げてきた



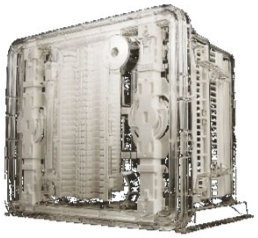
Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

当社の事業セグメント

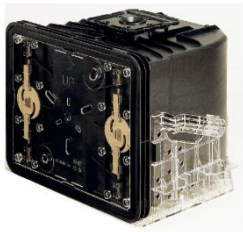
当社の事業セグメントは以下の通り

→前掲の技術プラットフォームを活かして独自製品を開発し続けてきた

プラスチック成形事業		成形機事業
300mmウェーハ搬送容器	高機能樹脂製品	



出荷容器 FOSB



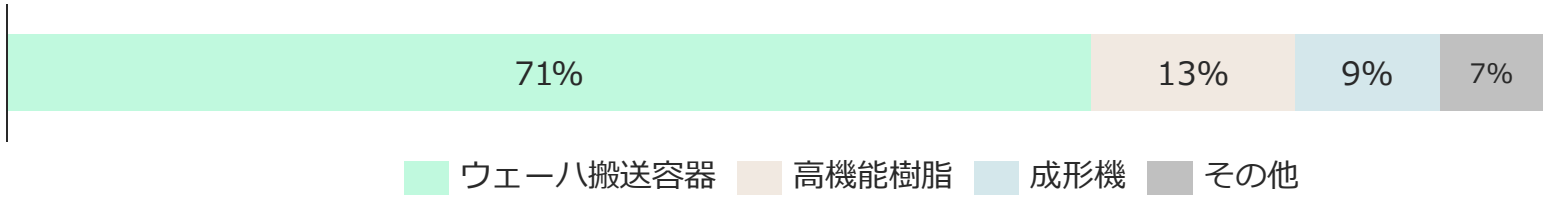
工程内容器 FOUP

フッ素樹脂大型成形品

フルイドシステム

特殊成形機

[2024年１月期事業セグメント別売上構成比]



Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

ミライアルの行動指針

~ 経営理念 ~

私たちは事業活動を通じて
人と自然を大切にし　あらゆる人々に愛され　社会の発展に貢献します
先端技術をもって開発を推進し　世界の人々に喜ばれる価値を創造します

~ ミッション ~

－ずっと、必要とされ続ける－
常に自らを革新し、独自性ある開発に挑み、
未来社会へ幸せをつなぐ企業グループとして、
世界で必要とされ続ける

~ バリュー ~

誠実
挑戦
オープンマインド

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

長期ビジョン2033

行動指針に基づいて10年後のありたい姿として“長期ビジョン2033”を策定

やりがいある安全・安心な職場

全ての従業員が安心して自身の能力を発揮し成長の喜びを感じられる仕組みと安全な職場を提供する

イノベーティブで最高品質のソリューション

独自のモノとサービスで最先端市場におけるお客様の課題を解決する

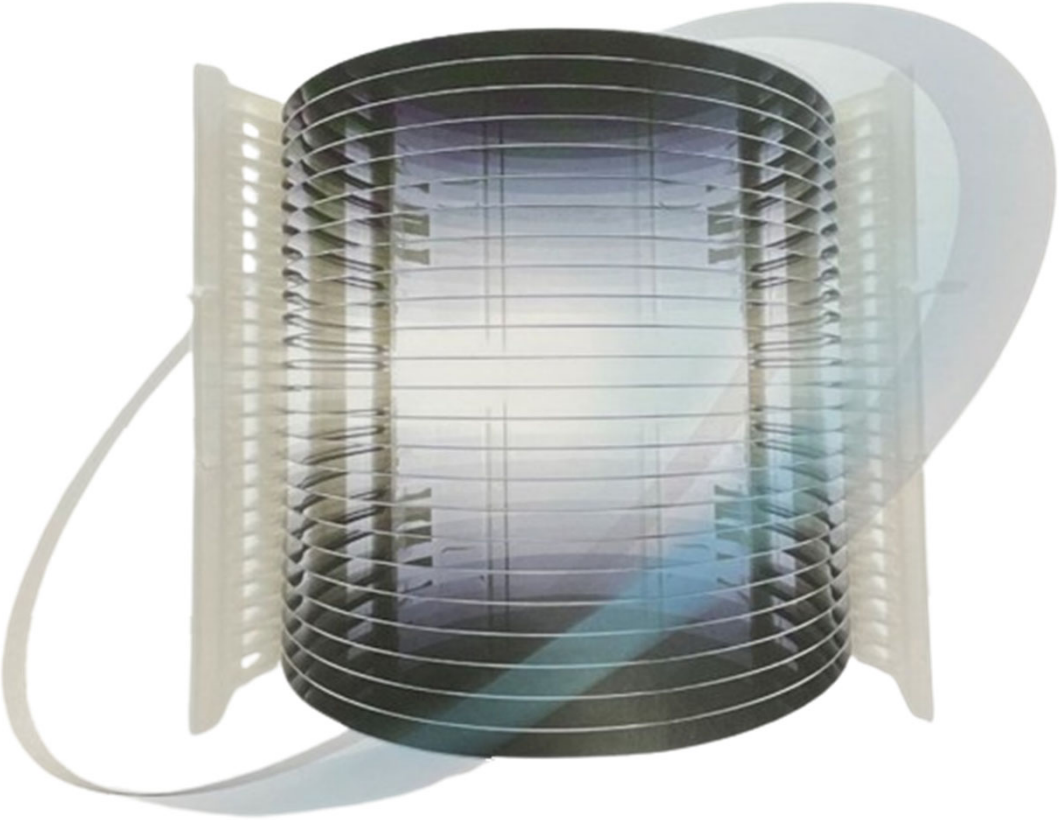
シンプルな仕組みとコミットメント

スマートな経営を実践し、各自各社がなすべきことをやり遂げ、ステークホルダーと共に持続的かつ安定的な企業価値向上を実現する

笑顔あふれる地球社会への貢献

人と地球環境にやさしい経営を実践し、持続可能な社会を目指す

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.



はじめに

前成長戦略の振り返り

中期成長戦略 2028

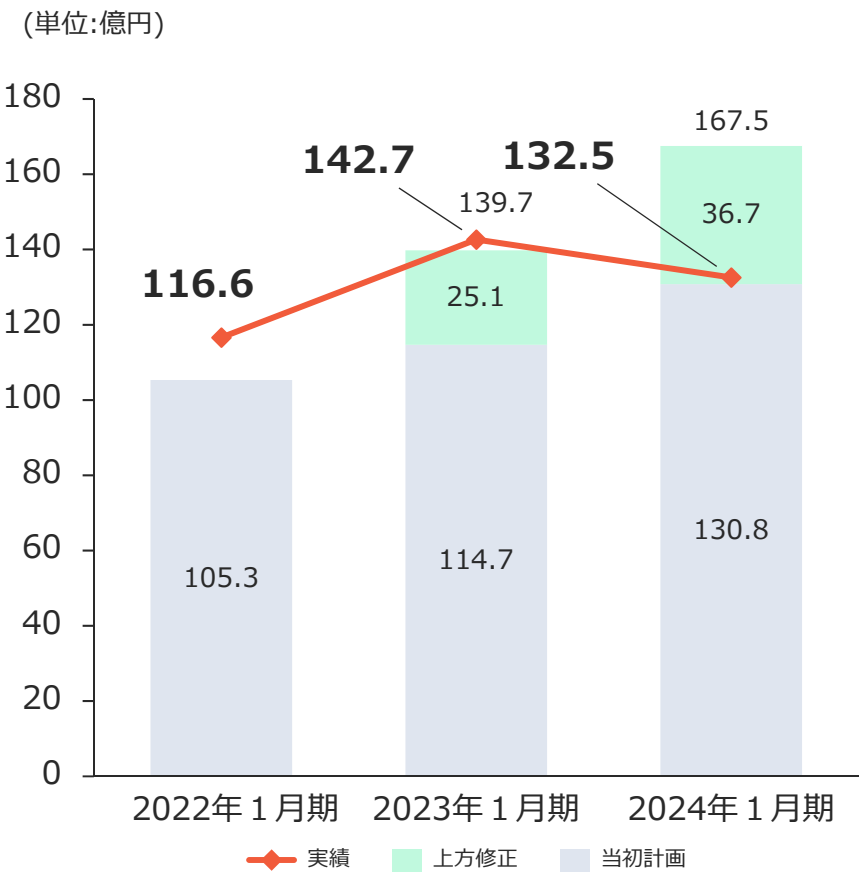
サステナビリティの取組

数値目標の達成状況

売上は最終年の上方修正後の目標には届かなかったが、当初の中期目標を達成した

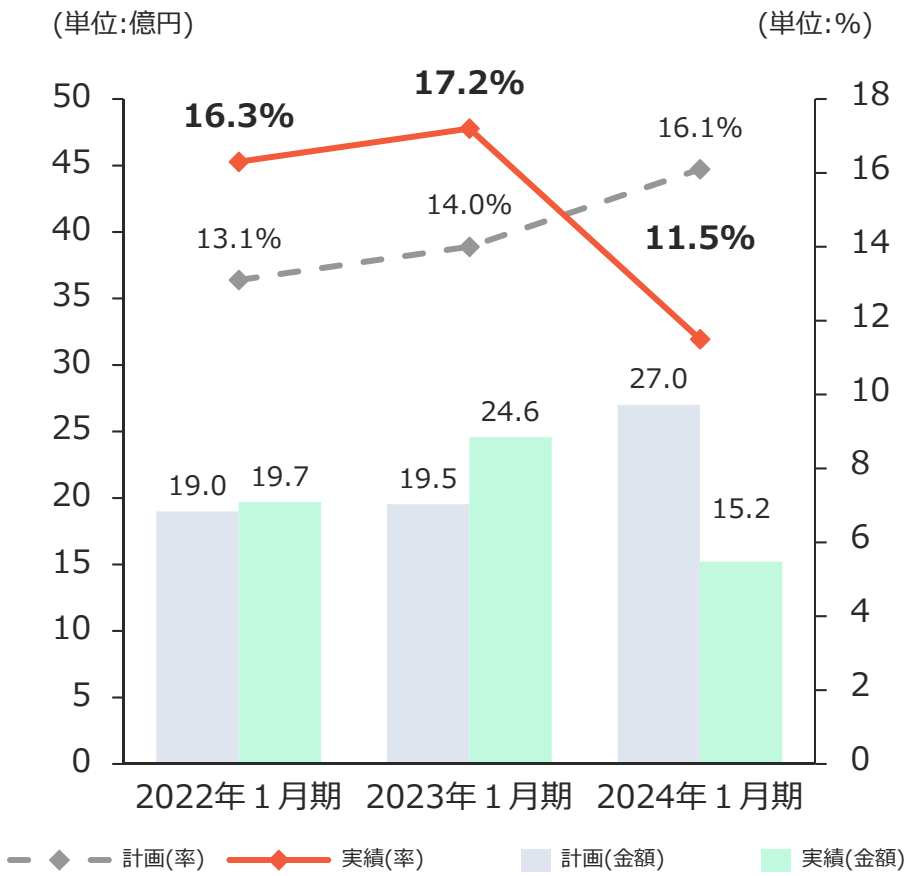
半導体市況回復に備えた先行投資による償却負担増の影響もあり、営業利益は下落

当社の売上高実績と計画値の比較



当社の営業利益(率)実績と計画値の比較

※計画値はともに上方修正後の数値



Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

重点施策の振り返り

Miraial

中国市場での販売拡大など、施策実施により大きな成果を挙げるとともに、生産能力増強、高機能樹脂の体制強化を通じて、次のステップへの足掛かりを作った

	重点施策	振り返り
事業戦略	✓ 自動化、工程改善による生産性の向上、顧客需要を満たす能力増強	○ FOSB生産能力アップを完了
	✓ 中国市場開拓による顧客拡大	○ 中国市場向けの売上がCAGR39%の成長
	✓ 半導体容器新製品の販売	△ 半導体容器新製品の上市
	✓ 高機能樹脂製品の新製品の加速、新規顧客開拓	△ 営業推進体制を増強したが、原材料供給難の逆風で売上拡大は限定的
	✓ 特殊成形機の開発、販売拡大	○ 山城精機しか作れない特殊成形機の開発を完了し、今後の成長の土台を構築
組織戦略	✓ グループ連携の土台となるデジタル化の推進	○ グループの主要システム更新に着手

総括

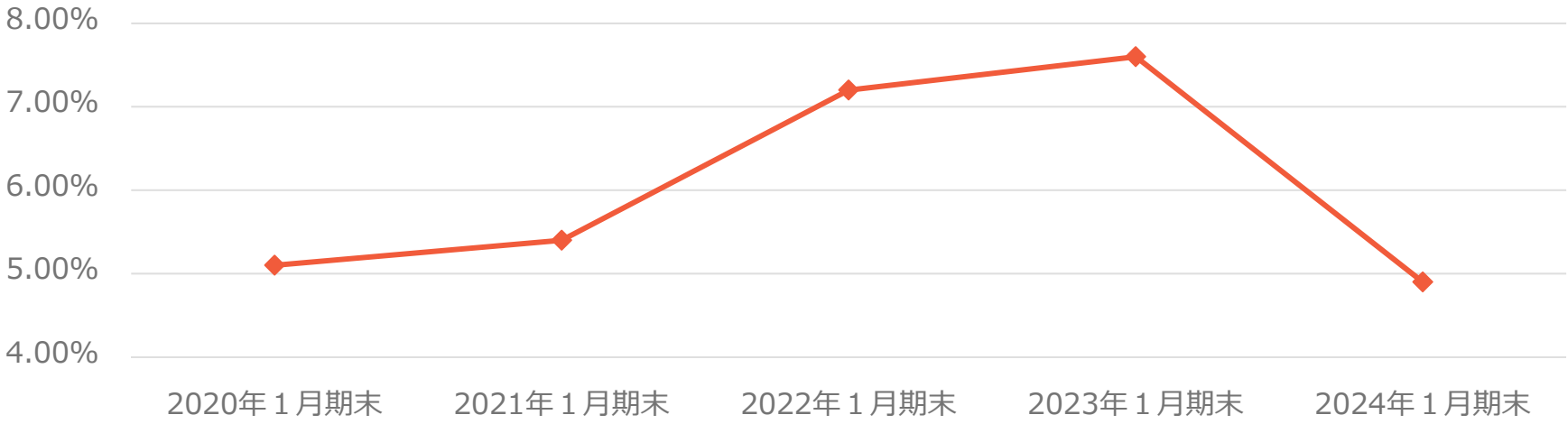
- **FOSB生産能力や高機能樹脂の営業推進体制の増強、山城精機独自の成形機の開発といった次のステップへの土台を構築。**

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

企業価値向上へ向け：現状分析・課題

資本収益性：資本コストを上回る資本収益性の実現が重要な課題

ROE推移



株主資本コスト（参考）

リスクフリーレート（0.7～0.8%）国内長期レート ＋ β（1.4）２年週次β等を参考 × マーケット・リスク・プレミアム（6%程度）

＝ 株主資本コスト（9.0%～9.5%）

半導体市場の影響を大きく受け、業績の変動が大きく安定していない状況もあり、資本コストを上回るROEの実現ができていない。
特に資本効率（総資産回転率）が低いことがROE低迷の主因であり、売上拡大による資本効率の向上が中長期的課題。

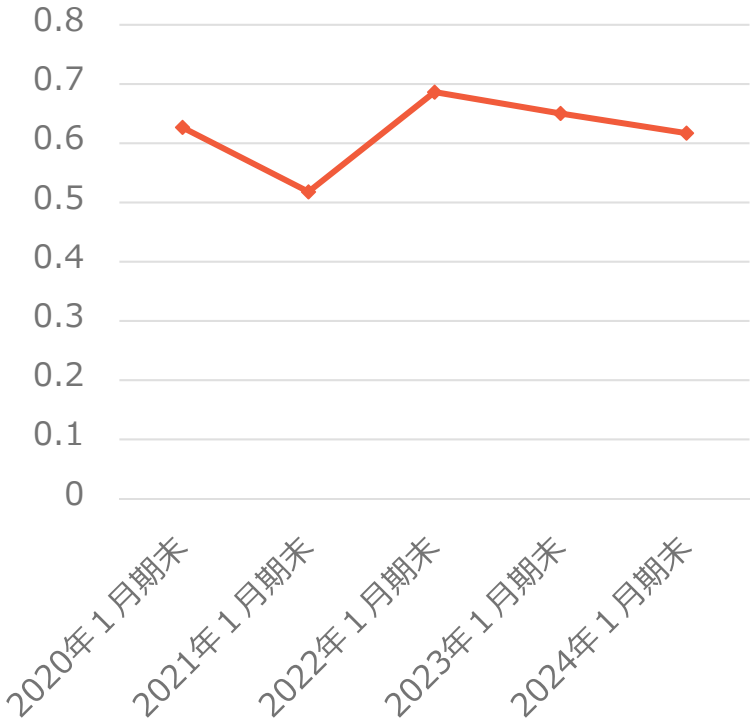
Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

企業価値向上へ向け：現状分析・課題

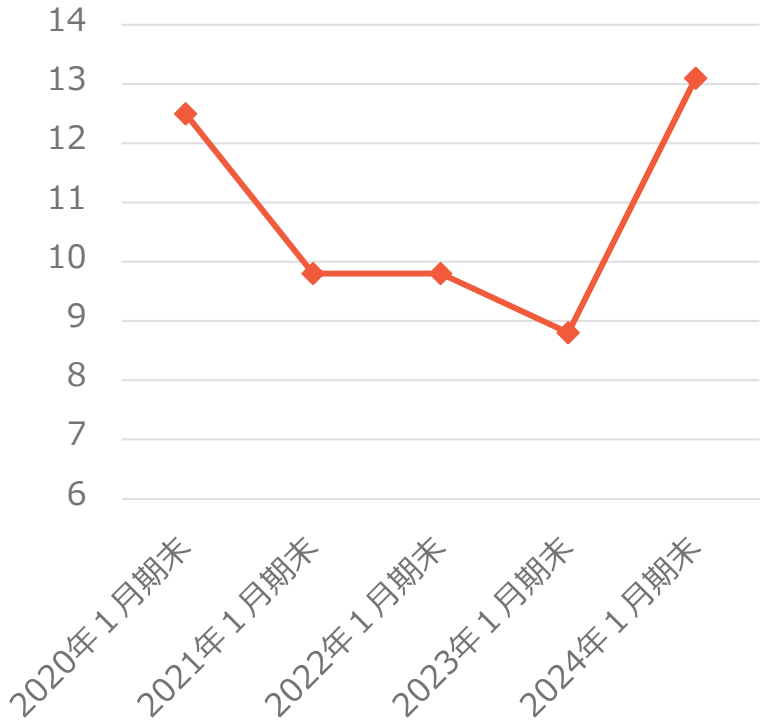
Miraial

市場評価：不安定なPER→PBRの１倍割れの状況が長期に渡り継続。

PBR推移

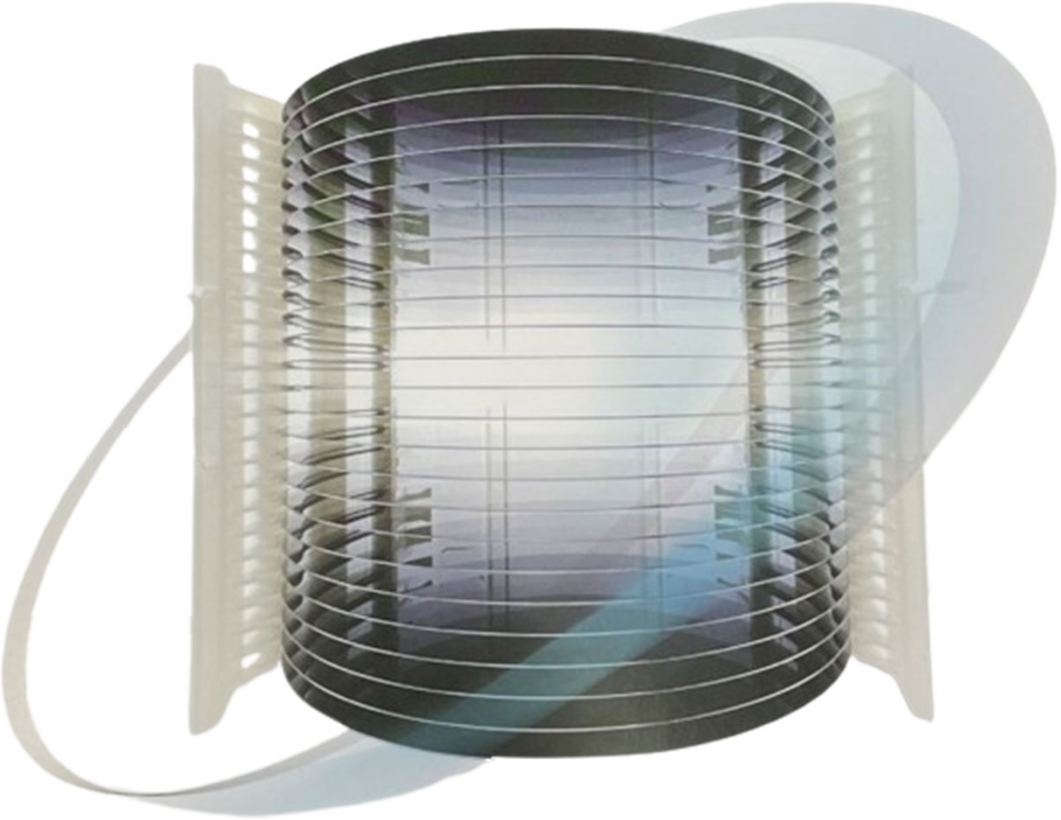


PER推移



PBR１倍割れの解消に向け、資本コストを上回るROEの実現に加えて、PERの改善及び安定化が不可欠と認識。
そのためにIR活動を強化し、自社の取り組み（事業成長戦略、サスティナビリティなど）を積極的に開示していく。

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.



はじめに

前成長戦略の振り返り

中期成長戦略 2028

サステナビリティの取組

当社の発展段階と中期成長戦略の位置づけ

Miraial

中期成長戦略の期間は、新たなステージで長期ビジョンを実現するための
土台作りの５年間と位置づけ、覚悟を持って変革に取り組んでいく

第３創業期
（2029～）

新たなステージでの
長期ビジョンの実現

FOSBを世界に先駆けて開発
「FOSBのミライアル」として成長

第２創業期
（1999～2028）

中期成長戦略期間

2024～2028

☞ **第３創業期に向けた**
土台作りの５年

第１創業期
（1968～1998）

国産初のウェーハ用PFAカセットを中心とする成長

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

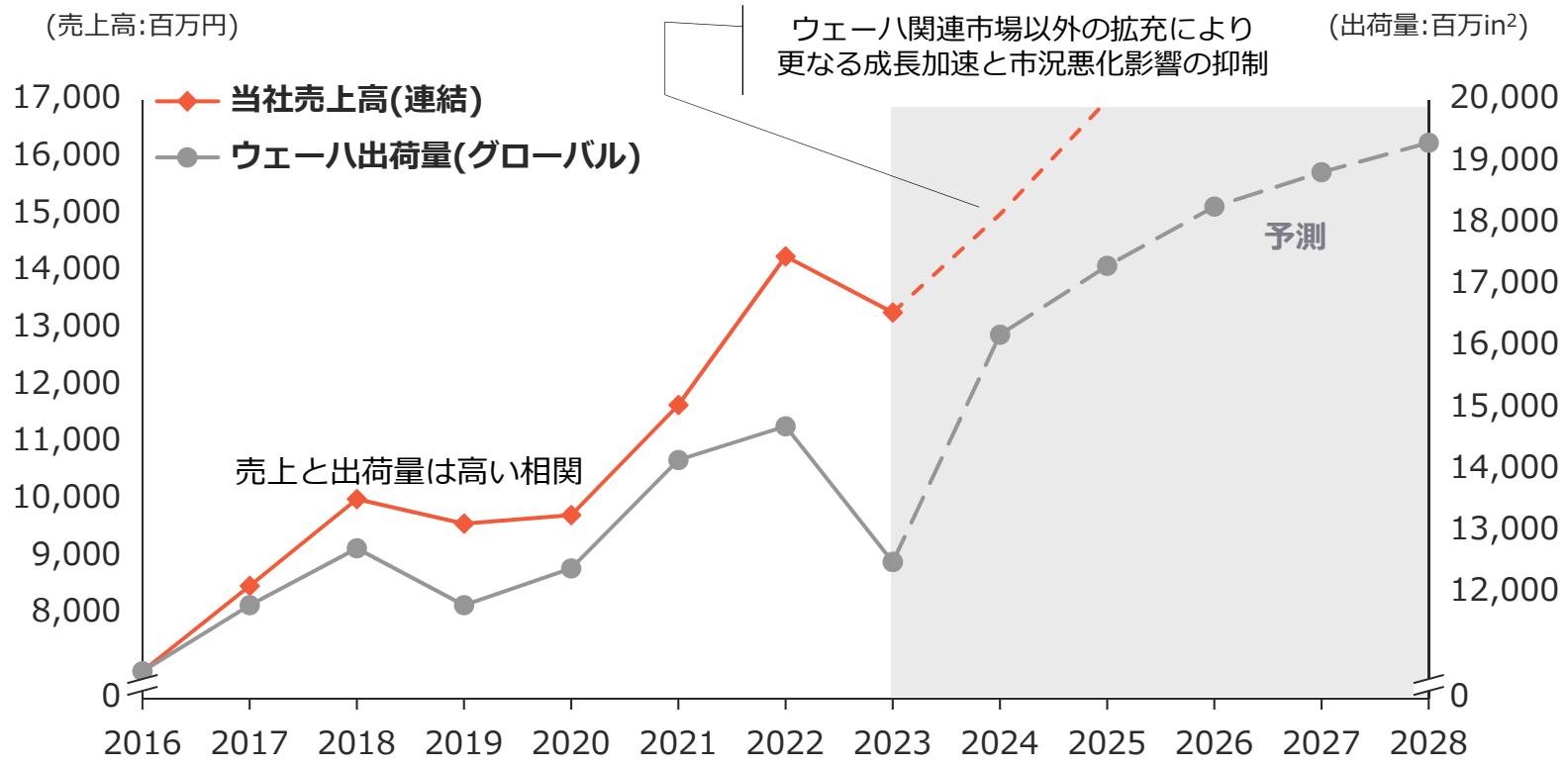
当社を取り巻く環境認識

ウェーハ出荷量の増加に対応し搬送容器を中心に売上を拡大してきた

→今後もウェーハ出荷量の増加に対応していくことは不可欠だが、

更なる成長加速と市況悪化によるリスクを抑えるため第2、第3の柱を確立していく。

ウェーハ出荷量推移と当社の売上高推移の比較



出所：SEMI・富士キメラ総研等の公表データを総合し当社で取りまとめ

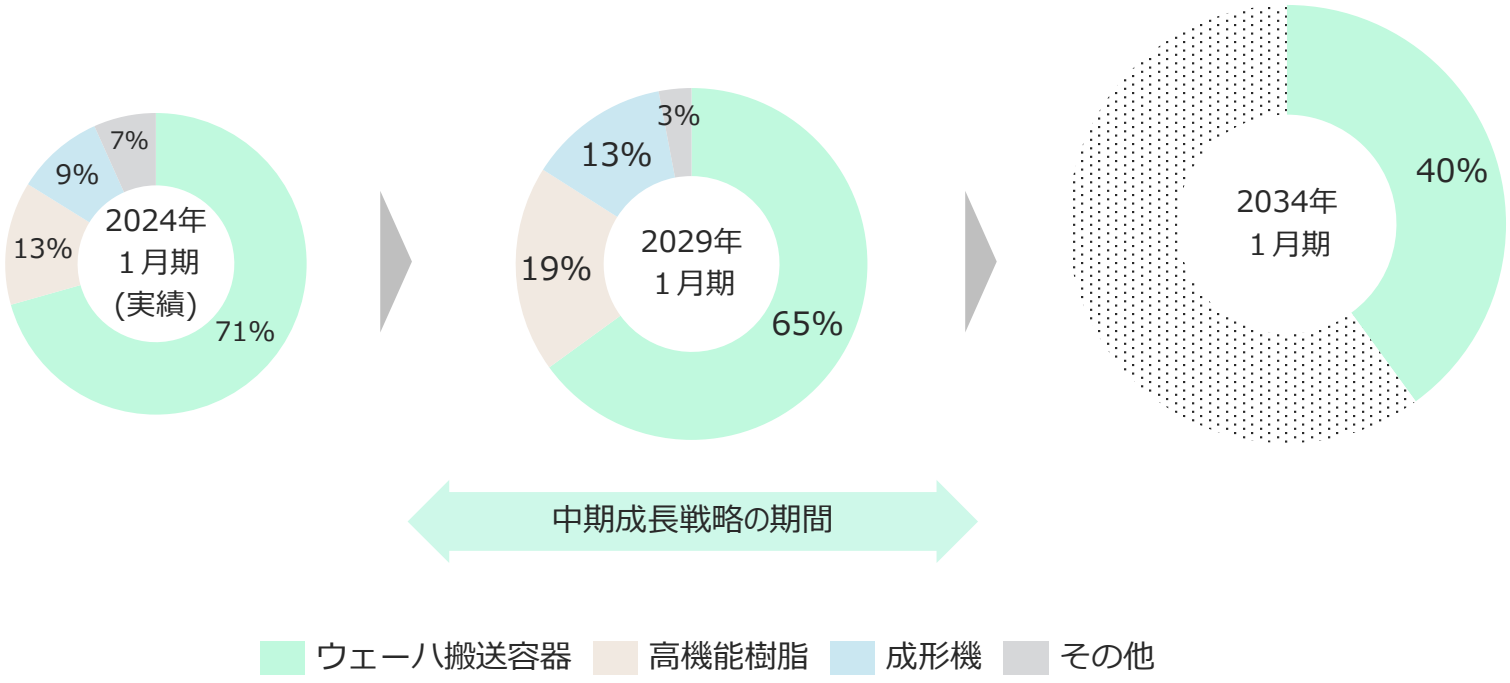
Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

第3創業期に向けた事業ポートフォリオの変革

売上の７割をウェーハ搬送容器が占める事業ポートフォリオを変革し、
2029年度以降の安定的な成長基盤を確立する

10年後に目指す事業ポートフォリオ（売上高）

2033年度にウェーハ搬送容器以外の第2、第3の柱を構築する



Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

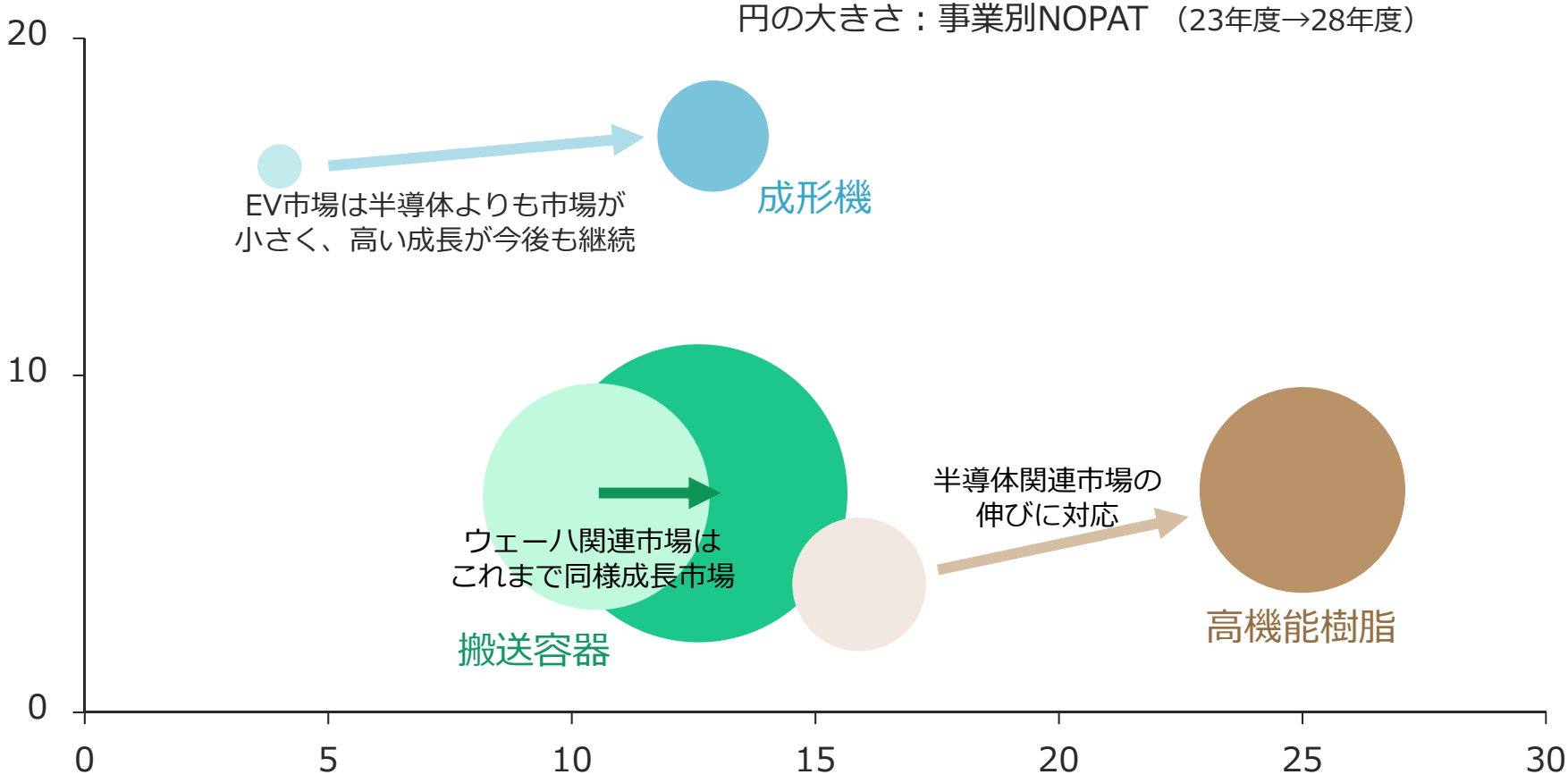
事業ポートフォリオに関する方針

Miraial

現在の主力である搬送容器事業を深耕しつつ、成長市場での事業拡大が見込める高機能樹脂、成形機の事業に経営資源を振り向ける

事業セグメント別の24年１月期見込と29年１月期目標

縦軸：市場成長率［%］（前成長戦略期間→当成長戦略期間）
横軸：事業別ROIC［%］（23年度→28年度）
円の大きさ：事業別NOPAT （23年度→28年度）



※市場成長率はターゲット市場に関する後掲の統計情報をもとに当社推計

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

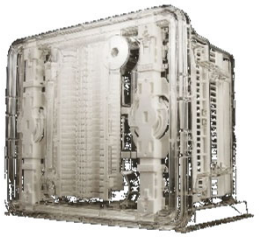
300mmウェーハ搬送容器事業の戦略基本方針

Miraial

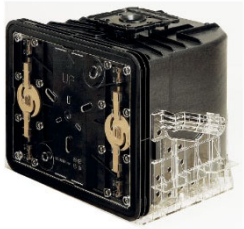
半導体市場の拡大に伴う成長だけでなく、強みであるクリーン化技術を活かし、
半導体の微細化に伴う市場の要請に高水準で応えていくことで事業の拡大を図る

成長に向けた重点施策

- ✓ 半導体の微細化に伴うクリーン化要求への対応
- ✓ 半導体市場の急成長の中でも安定供給できる体制の構築
- ✓ クリーン化技術や精密加工技術を活かした新用途展開（後工程への用途展開）

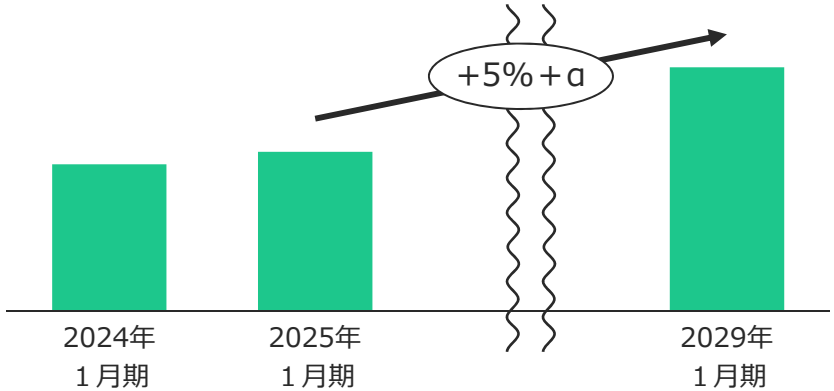


出荷容器 FOSB

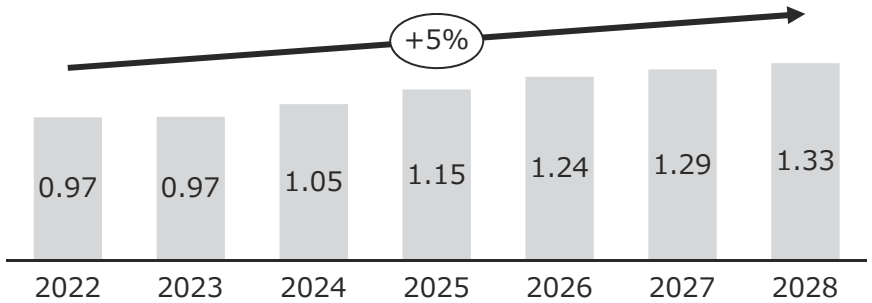


工程内容器 FOUP

売上計画



［300mmウェーハの出荷数量予測］　単位：億枚



出所：『2023先端／注目半導体関連市場の現状と展望』富士キメラ総研　より当社推計

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

高機能樹脂事業の戦略基本方針

Miraial

成長市場である半導体関連市場を技術的強みを活かした差別化製品で開拓

→加えて、新規マーケットを深耕することで市場成長以上の拡大を実現

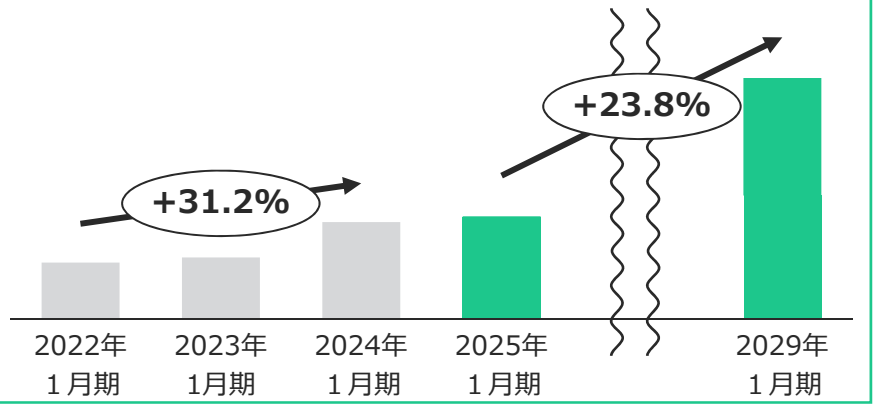
成長に向けた重点施策

- ✓ 半導体微細化に伴う関連分野でのクリーン化要請の高まりに対応して、特長ある製品を投入する
- ✓ クリーン化技術やスーパーエンプラの加工技術等の強みを活かせる新規マーケットを開拓する

フッ素樹脂大型成形品

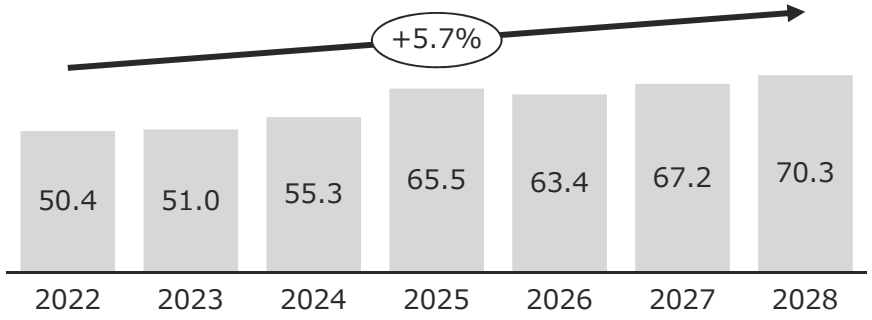
フルイドシステム

売上計画



［半導体関連市場の市場規模予測］

単位：十億ドル



出所：『2023先端／注目半導体関連市場の現状と展望』富士キメラ総研

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

成形機事業の戦略基本方針

Miraial

独自の大容量、自動化技術を特長とするトランスファー成形機を主軸に、
成長産業であるＥＶ市場を中心に事業を拡大する

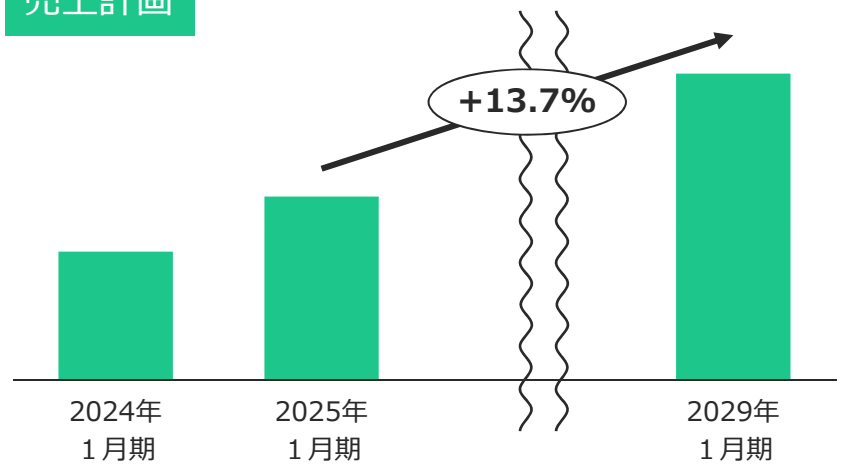
成長に向けた重点施策

✓ ＥＶの次世代モーター向けの封止用トランスファー成形機を拡販する

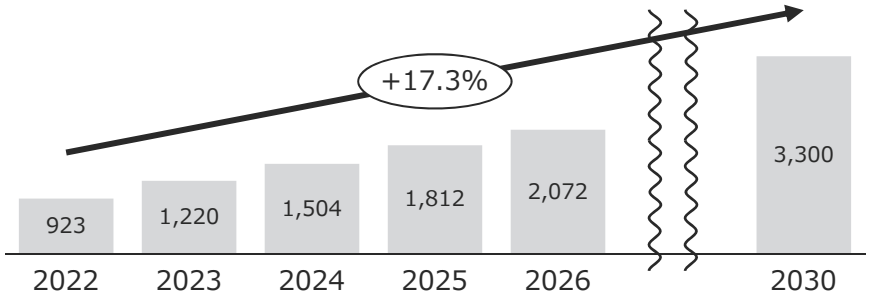
- 既に開発は完了しており、実機及び試作機の販売に着手
- 日本メーカーのＥＶ開発の本格化に合わせて成長する

モーターコイルの封止例

売上計画



［EV向け駆動用モーター販売数量予測］　単位：万台



出所：『2023 車載電装デバイス&コンポーネンツ総調査』富士キメラ総研

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期成長戦略の数値目標

中期成長戦略の最終年度の2029年１月期（2028年度）に、売上高239億円、ROE11%を目指す

	2024年１月期実績	2029年１月期計画
売上高	132 億円	**239** 億円
営業利益	15億円	**47** 億円
営業利益率	11.5 %	**20.0** %
ROE	4.8 %	**11.1** %
配当性向	30% を目途とする安定配当	

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期成長戦略期間のキャッシュアロケーション

創出した営業キャッシュフローに一部の借入を加え、積極的な成長投資を実施
適切な財務レバレッジを考慮しながら、安定的な株主還元を実現する

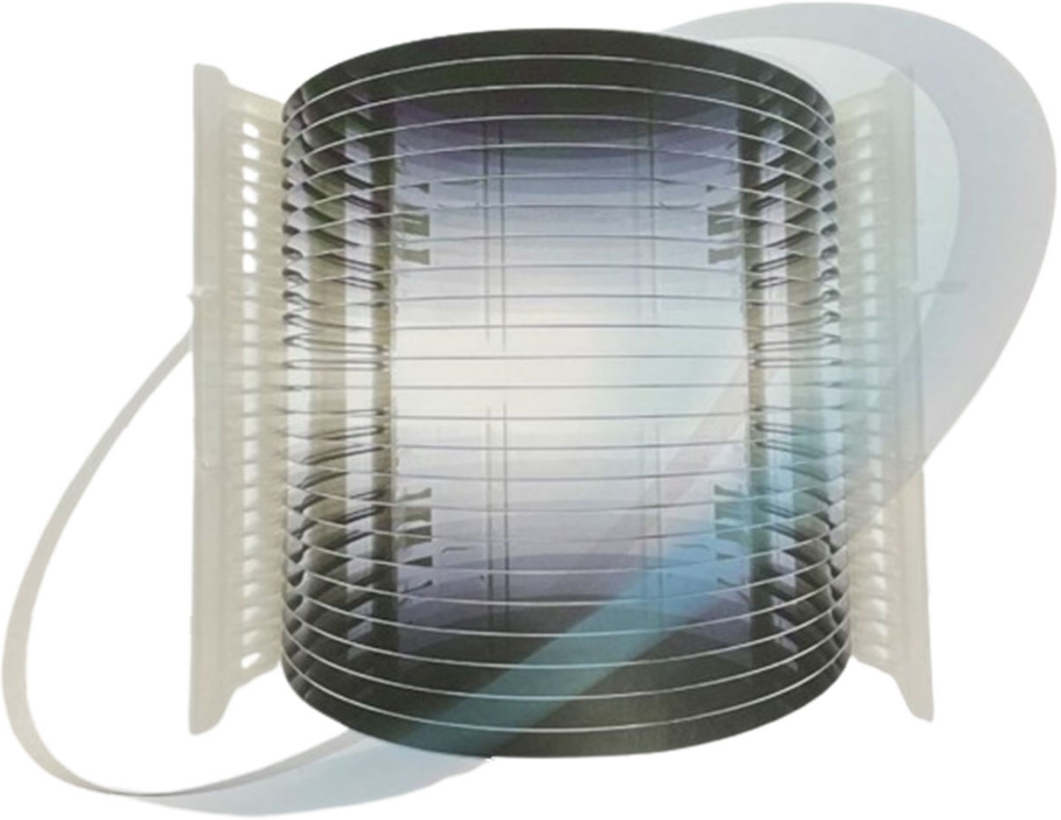
調達	配分
有利子負債	研究開発等の成長投資(M&A含む)
成長戦略期間における営業キャッシュフロー	設備の更新投資
	株主還元
余剰現金の活用	自己株式取得

- 新製品・新市場の開発のための研究開発投資
- 事業拡大への対応に向けた生産能力増強や、自動化等による効率化のための投資
- M&Aも視野

建屋、機材の老朽化等に対応するための投資

配当性向30%を目安とする安定配当の維持

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.



はじめに

前成長戦略の振り返り

中期成長戦略 2028

サステナビリティの取組

マテリアリティと取組方針

企業として持続的に成長し、持続可能な社会の実現に貢献していくために、
マテリアリティ（重要課題）を以下のように設定する

	マテリアリティ（重要課題）	中長期の主要取組方針	SDGs関連
環境 E	気候変動への対応	再生可能エネルギー導入による CO2排出量削減	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を
社会 S	持続可能な人材育成	社会のニーズを先取りし、自発的に考え 行動する自立型人材の育成	3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も
	安心安全な労働環境	従業員の人権と多様性の尊重 成長の喜びを感じられる職場環境構築	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
	地域社会への貢献	安心・安全なまちづくりへの貢献 地域イベント・ボランティアへの参画	4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を
	生物多様性の保全	環境保全活動への参画	15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう
ガバナンス G	コーポレートガバナンス強化	社外取締役活用によるガバナンスの強化	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 16 平和と公正をすべての人に
	サステナビリティ経営の推進	サステナビリティ経営体制の構築	

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み

Miraial

未来を見据えたカーボンニュートラルの取り組みに挑戦する

脱炭素化

- ✓ 本社・工場などの拠点において、太陽光発電など再生可能エネルギーを導入し、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでおります。
- ✓ 今後は部門別に温室効果ガスの削減目標を設定し取り組んでまいります。

住吉工場航空写真

環境負荷低減

- ✓ 廃棄量削減と省資源のために、再利用、再資源化の容易な製品および原材料使用量を低減させた製品の設計開発を推進します。
- ✓ 環境関連の法律・規則・条例などを遵守するとともに、近隣地域社会との調和および共生に努めます。

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

Miraial

「ミライアルの未来」

明日に向かって

「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社　企画部

電話：03-3986-3782　FAX：03-3986-3853

E-Mail：investor_relations-m@miraial.co.jp

＜将来見通し等に関する注意事項＞

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

Copyright：2024 © Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.